

にしかわ みさほ  
西川 美佐保 議員  
(公明党)



- ◇健康人口を増やす予防対策を
- ◇孤立死への予防対策について
- ◇地産地消の再生可能エネルギー

## 健康人口を増やす予防対策について

**質問** 生活習慣病予防のための取り組みは、確実に効果を出すためのシステムが必要と考えるが、具体的推進は、

**市長** 市では、今年度から特定健診、後期高齢者健診、特定保健指導に係る事務を保健センターに一元化し、受診率の向上、保健師や栄養士の各種講座・相談など総合的に取り組んでいる。

**質問** 市民の健康づくりを推進する

ため、市などのセミナーや運動への参加でスタンプを押し、いっぱいになったら活用できるポイント制度を実施しては。

**市長** さらなる健康意識の高揚のため、先進事例による効果などを参考に検討していきたい。

**質問** 介護ボランティア制度を創設し、元気で生きがいのある仕組みづくりを。

**市長** 高齢者の介護予防を推進することは非常に重要であり、先進事例の効果を検証する。

**質問** うつ病予防対策として、心の健康状況やストレスをパソコンや携帯電話でチェックできるシステム「こころの体温計」を導入してはどうか。

**市長** 先進事例を参考に研究する。

**孤立死対策について**  
**質問** 孤立化を防ぐための地域サロン活動の推進や、電気、ガス、水道等の事業者との連携を強化しては。

**市長** 高齢者の身近な地域の会館等で、小地域ネットワーク活動や老人ク



▲男性向け健康料理講習会「メンズキッチン」

はしもと ひろたか  
橋本 弘山 議員  
(新公会市民クラブ)



- ◇危機管理体制について
- ◇最近の子どもたちを取り巻く様々な課題について

## 危機管理について

**質問** 今回、仮に北朝鮮のミサイルが発射されたとしたら、市のＪアラートの運用態勢、市民への情報伝達計画、また国からの情報伝達体制はどうであったか。

**市長** ３月１６日に国から情報が入り、職員配備をした。万一の際には迅速、確実に市民に伝達ができるよう、職員の態勢を整え、Ｊアラートの導通試験も実施するなど、万全の態勢で臨んだ。



▲羽村東小学校の運動会の様子

**質問** このシステムをどのように市民に周知していくのか。

**市長** これまで広報紙やホームページで周知してきたが、今後は総合防災訓練において、試験放送を実施するとともに、テレビはむらを活用した紹介などにより、情報提供に努めていく。

**最近の子どもたちを取り巻く様々な課題について**  
**質問** 小１プロブレム解消の対策として、就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図るための取り組みは。

**教育長** 「羽村市幼稚園・保育園・小

校連携推進懇談会」を設置し、教員、保育士との交流や情報交換、指導方法等の相互理解を図り、小学校への円滑な接続を図れるよう努めていく。

**質問** 最近の暴走車事故を踏まえ、通学路点検を行う必要があると考えるが。

**教育長** 各学校で、危険箇所の把握や低学年児童を中心に安全指導を行い、

ラブのサロン活動がさらに活性化するように支援する。また民間事業者と協議のうえ、支援を必要とする方の把握に努める。

## 地産地消の再生可能エネルギーの推進について

**質問** 市としてスマートシティ構想の

構築など、どのように考えているのか。

**市長** スマートシティ構想は、電力の自給自足、地産地消によるまちづくりを推進するうえで、有効な手法の一つであるものと認識しており、国等の実証プロジェクトの動向を注視してい

く。

とみまつ たかし  
富松 崇 議員  
(新公会市民クラブ)



## ◇羽村市の情報発信について

## 羽村市の情報発信について

**質問** 市の情報発信はどのようなツールを使っているのか。

**市長** 市では「広報はむら」を市政情報提供の最も基本のツールとして、「テレビはむら」での映像広報、緊急時などに活用する防災行政無線やエリアメール、即時性や情報量に優れたホームページやメール配信サービスの活用など、多様な広報媒体を駆使して、幅広い年代の要請に応じた市政情報の発信および提供に努めている。

**質問** 情報発信ツールでの問題点・不便だと感じるようなことは。

**市長** それぞれ長所や短所があるが、相互に補完しあうことで市民ニーズに対応しているものと考えてる。

**質問** 第五次長期総合計画にある「インターネットを活用したソーシャルネットワークづくり」とは、どのような場を提供する考えなのか。

**市長** ソーシャルネットワークは、インターネットを活用した情報交換の場であり、地域コミュニティを醸成する場、羽村をＰＲするツールとして活

用に向けた研究をしていきたいと考えている。

**質問** 市のホームページにおいて、更新にかかる時間や写真を掲載する場合のデータ量の制限等の制約はあるのか。

**市長** 更新にかかる時間は、およそ１時間以内で対応できる。データ量については、基本的に１ページあたりの上限を２メガバイトとしている。

**質問** 他の自治体でも導入するところが増えているフェイスブックやツイッターのようなソーシャルネットワークサービスを、情報発信のツールとして新たに導入する考えは。

**市長** 導入に向けて、運用の方法や費用対効果など総合的な検討を進めていく。



▲羽村市ホームページのトップページ

**教育長** 体力調査と目標設定、課題解決の取り組みを年間通じての活動として定着させるほか、地域スポーツ団体や家庭等と連携し、体力向上に努めていく。

\*Ｊアラート：緊急時に、国が市の防災無線を通じて直接市民に情報を知らせる警報システム



もんま ひでこ  
門間 淑子 議員  
(市民ネットワーク  
「いきいき広場」)



- ◇企業跡地に太陽光発電所を
- ◇図書館の充実について
- ◇食品の放射性物質測定への対応強化

#### 企業跡地に太陽光発電所を

質問 移転予定の企業跡地の面積は。

市長 約5万1千㎡である。

質問 太陽光発電所建設に向けて、

企業誘致を促進してはどうか。

市長 企業活動の一環としての売買であり、多様な選択が行われると考えられるので、太陽光発電所建設を提案することは考えていない。

#### 図書館の充実について

質問 図書予算の減額をどのように改善していくのか。

教育長 24年度は昨年比390万円の削減だが、電算システムのリース契約にともなうものであり、図書購入費は70万円増額した。

質問 正規職員の司書資格者の比率を70%まで高めるよう、図書館協議会の指摘がある。比率は高まったか。

教育長 正規職員は8人だが、司書資格を持つ新規職員を採用し、37.5%の比率となった。

質問 雑誌の種類を300誌まで増やすよう指摘がある。増加したか。

教育長 23年度は190誌であり、22年度比較で57誌減少している。

#### 食品測定への対応強化を

質問 あきる野市では学校、保育園、幼稚園の給食の放射性物質を測定し、公表している。羽村市も実施すべきではないか。

市長 羽村・瑞穂地区学校給食組合で



▲羽村市図書館絵本コーナー

は、6月27日、28日には、東京都教育

委員会による検査が実施される。

流通食品は、都道府県の検査で安全確保体制が整えられているので、市が検査することは考えていない。

質問 市内農産物の測定結果を、農産物直売所で日常的に公表できるよ

うにしてはどうか。

市長 J A西多摩では放射性物質測定器を購入し、4月より測定を行い

組合のホームページで公表している。農産物直売所でも結果と検査方法を表示・公表する仕組みができてい

#### ◇生活保護費の急増に

#### どう対応するか

#### ◇学校評議員制度の活用は十分か

はせひら こうぞう  
馳平 耕三 議員  
(民主党)



#### 生活保護費の急増にどう対応するか

質問 厚生労働省の試算では、2025年までに、生活保護費が40%増える予想しているが、羽村市ではどうか。

市長 市として予想を立てることは難しい。仮に40%増えたと仮定すると、約1億3千万円増加する。

質問 生活保護費に占める医療費の割合は何か、また、この数値が極端に高い理由は。

市長 平成23年度の決算見込みでは、生活保護費は約11億8千万であり、医療費は約5億円で、割合は42.3%である。この数値が高いのは、療養を必

#### わかりやすい財政運営を

質問 新公会計制度の取り組み状況は。

市長 新公会計制度は、資産や負債などのストック情報の全体像や減価償却、金利などを含む正確なコスト情報が把握できるものだが、実施コストの大幅な増加が考えられ、費用対効果を見極めていく必要がある。都の研究会に参加し研究していく。基盤となる固定資産台帳の整備は、資産の評価方法に差異が生じる可能性があることや、導入コストの増加などの課題があるので、今後も調査研究を進める。

質問 わかりやすい予算の説明をすべきでは。

市長 平成25年度には、財政状況の推移や財政用語の解説などを含む財政情報誌を発行する予定である。

#### 危機管理について

質問 近隣自治体との協力関係は。

市長 多摩地域の30市町村と、災害時相互応援協定を締結し、相互に応援する体制を整えているが、さらに充実・強化したい。

質問 土日開庁のコストは。

市長 臨時職員賃金・光熱水費合わせ年間約640万円、一日あたり約6万4千円。出勤職員数は平均一日あたり約15人(うち臨時職員は約2人)。

質問 土日のどちらかのみにしては。

市長 利用者はほぼ同率なので、現状

費の負担があるので、実質的には最低賃金で働いたほうが相当額低くなる。

質問 生活保護費の不正受給は過去5年間で何件あったか。

市長 35件である。

質問 生活保護費の極端な増加を抑えるためには、無年金者の増加を抑える、自立支援の強化、不正受給の防止などがあるが、市の具体策は。

市長 無年金者には市として保険料の納付勧奨、減免手続きの周知に努めている。自立支援の強化については、就労促進員を配置した。不正受給の防止については、収入申告の義務などの制度を周知し、ケースワーカーの資質向上に努めている。

○その他「学校評議員制度の活用」について質問しました。

みずの よしひろ  
水野 義裕 議員  
(羽村 21)



- ◇わかりやすい財政運営を
- ◇危機管理について
- ◇窓口サービスのこれから



▲一般会計等予算審査特別委員会の様子

質問 流通業者などと連携した備蓄を。

市長 常に物資を現物で抱える必要がなく、保管に係る倉庫の確保も不要となり、管理に係る事務も軽減されるなどの利点があり、連携に向けて作業を進めている。

#### 窓口サービスのこれから

質問 多摩地域の土日開庁の実施状況は。

市長 土日2市・土のみ10市・日のみ11市・特定の土日2市・未実施1市。

を維持していく。

質問 一つの手続きのために、市民に何度も来庁していただくケースがあるか。

市長 原則として、何度も来庁していただくことはないが、郵送等での手続きでは来庁していただくケースもある。



▲羽村市役所正面入口